HTT 電力を へらす つくる ためる Tokyo Tokyo

充電設備導入のための セミナー

令和８年度第２回

東京都環境局気候変動対策部家庭エネルギー対策課

令和８年１０月２０日

次第

１:充電設備導入にあたっての基礎知識

２:検討段階のポイント

３:導入段階のポイント

４:運用段階のポイント

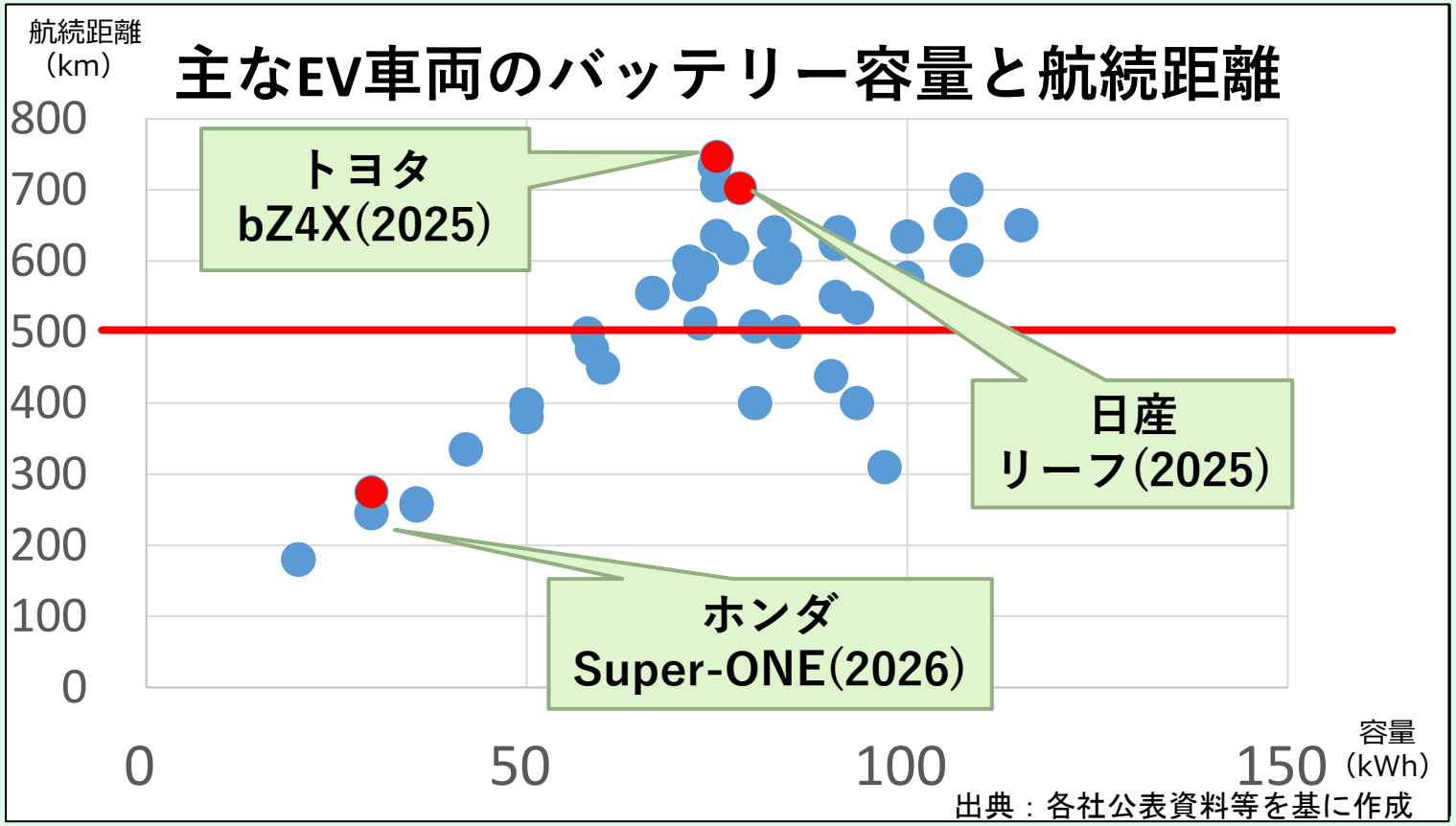
５:よくある質問・事前質問回答

１：充電設備導入にあたっての基礎知識

　1では充電設備導入にあたっての基礎知識をご紹介いたします。充電設備を取り巻く状況を電気自動車（EV）の動向やEV充電設備に対する行政の政策等様々な角度からご説明いたします。
　EV充電設備を取り巻く環境についてゼロから理解を深めていただくことが可能です。

　理事会等でEV充電設備の設置を提案する際の検討材料としてもご活用いただけます。

1：充電設備導入にあたっての基礎知識
EVの航続距離



多くの車種がフル充電で

500km程度走行可能

➡500km≒東京～大阪の距離

EVであっても日常的な利用で電欠の心配は少ない！

１：充電設備導入にあたっての基礎知識
国と東京都の政策目標等

【ZEVの政策目標】 ※電動車=非ガソリン車 =HV、ZEV ※ZEV（Zero Emission Vehicle）＝BEV、PHV、FCV

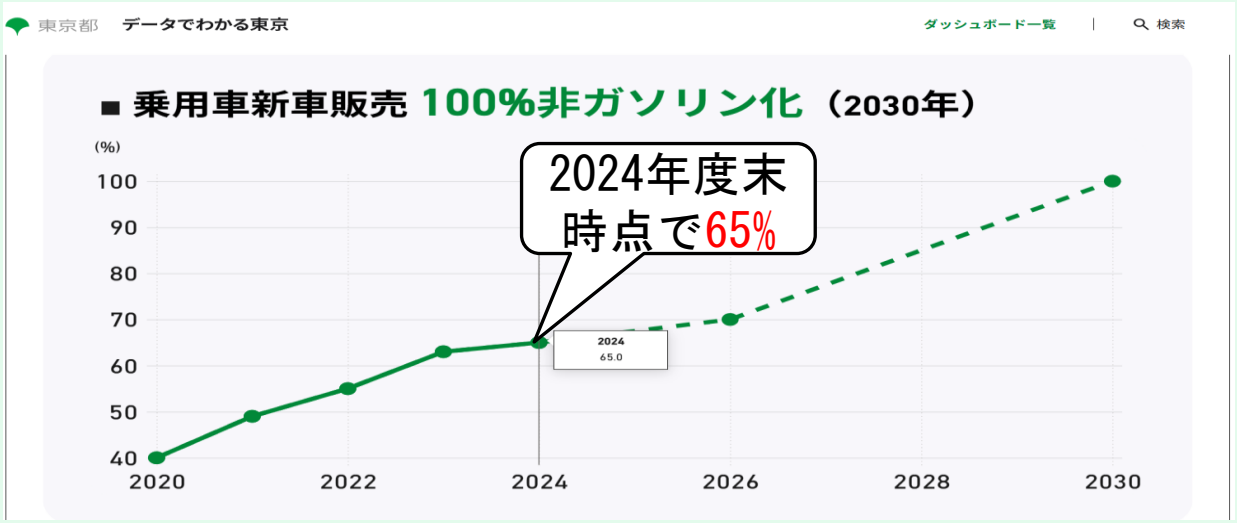
- 国　　2035年までに乗用車新車販売で**電動車100%**
- 東京都　2030年までに乗用車新車販売**100%非ガソリン化**
  うち、都内乗用車の新車販売台数に占めるZEV割合50%

【充電設備の政策目標】

- 国　　2030年までに**充電インフラ30万口**(公共用急速充電設備3万口含む)
  を整備。うち、**集合住宅**や月極駐車場等で**10~20万口**
- 東京都　都内集合住宅にZEV充電設備を2030年までに**６万口**、
  2035年までに**12万口**設置



【ZEVの普及状況】



（2050東京戦略 戦略20 ゼロエミッション - データでわかる東京）

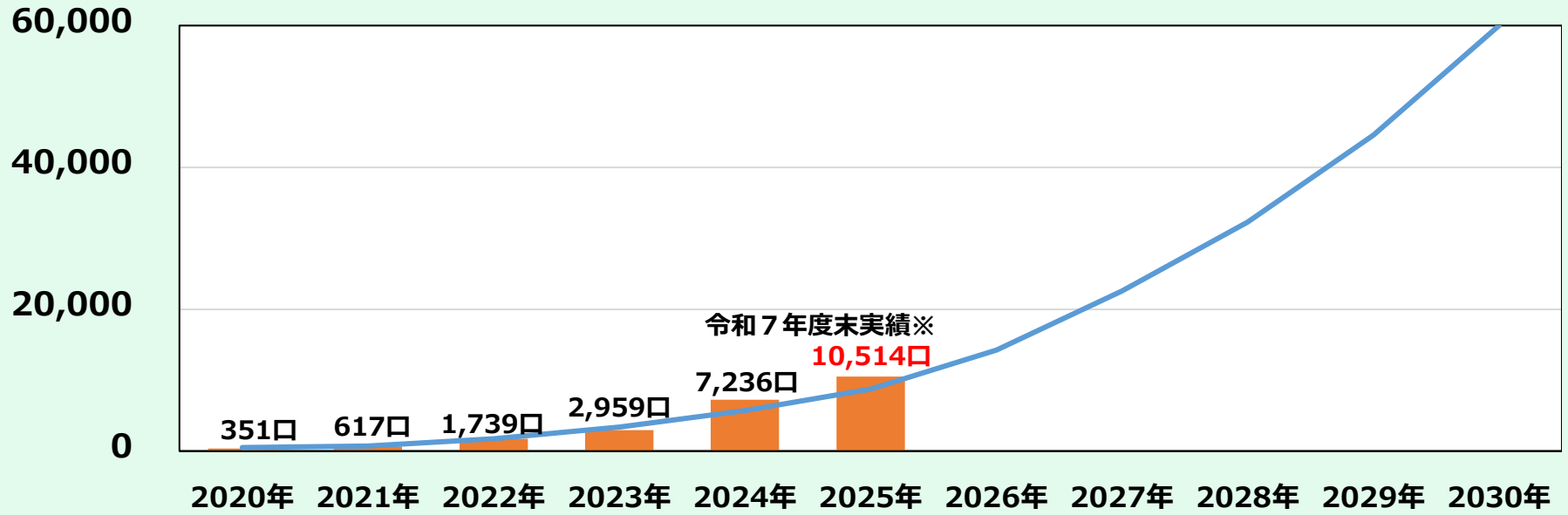
2026年４～９月の乗用車電動車販売台数と電動車比率（軽含む）

			構成比
乗用車全体	1,917,292	(5.4)	
電動車合計	1,048,460	(5.7)	54.7 [0.2]
HV	955,342	(1.4)	49.8 [▲2.0]
PHV	22,610	(7.8)	1.2 [0.0]
EV	70,273	(146.6)	3.7 [2.1]
FCV	235	(31.3)	0.01 [0.0]

※単位は台、▲はマイナス。()内は前年同期比増減率%、[]内は前年同期構成比とのポイント差

（一般社団法人　日本自動車会議所HP「自動車産業インフォメーション」より引用）

【充電設備の普及状況】



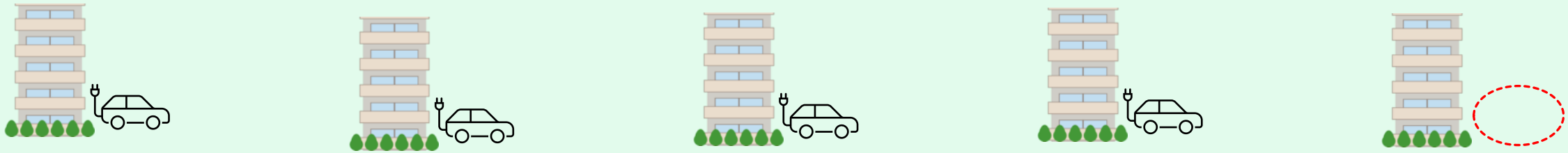
※各年度実績については、充電設備普及促進事業の交付件数、都営住宅・JKKの設置実績、建築物環境計画書、充電サービス事業者へのヒアリングを基に東京都が集計

１：充電設備導入にあたっての基礎知識
国と東京都の政策目標等

- 東京都　2025年４月より、一定の要件※１を満たす新築集合住宅等を対象に、**一定数以上の充電設備設置を義務化**※２

※１延べ床面積2000㎡以上、など
※２「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」等に基づく。

今後は、新築時から**標準的に充電設備が設置されている集合住宅が増える**



１：充電設備導入にあたっての基礎知識
EVの充電場所

	基礎充電	経路充電	目的地充電
想定運用方法	拠点となる場所で充電	休憩中に継ぎ足し充電	停まっている間に充電
対象施設	・戸建住宅 ・マンション ・事業所　等	・コンビニ ・高速道路SA/PA ・自動車ディーラー　等	・商業施設、店舗 ・宿泊施設 ・従業員駐車場　等
滞在時間	長い	短い	様々
充電設備	普通充電設備	急速充電設備	普通充電設備 /急速充電設備

▶住宅等での充電は**基礎充電**に該当

１：充電設備導入にあたっての基礎知識
自宅設置のメリット

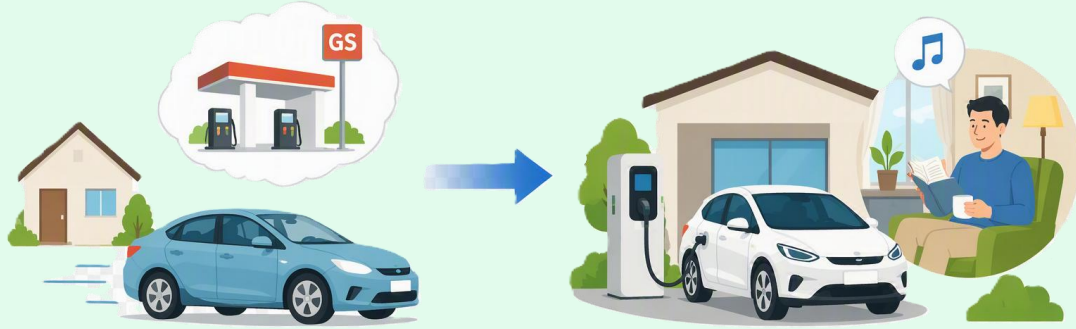
１　寝ている間に充電可能

▶**実質待ち時間「０」**



２　給油のためだけの外出は不要

▶移動の時間や手間を大幅に削減



１：充電設備導入にあたっての基礎知識
災害時のメリット

３ 災害時等の対応力の強化

- ▶V2H等を使用して、**EVを蓄電池**として利用可能
- ▶**災害時の非常用電源**として活用

※V2H、V2X＝EVの電池に充電された電気を住宅で利用したり、太陽光発電システムでの発電電気をEVに充電したりするためのシステム

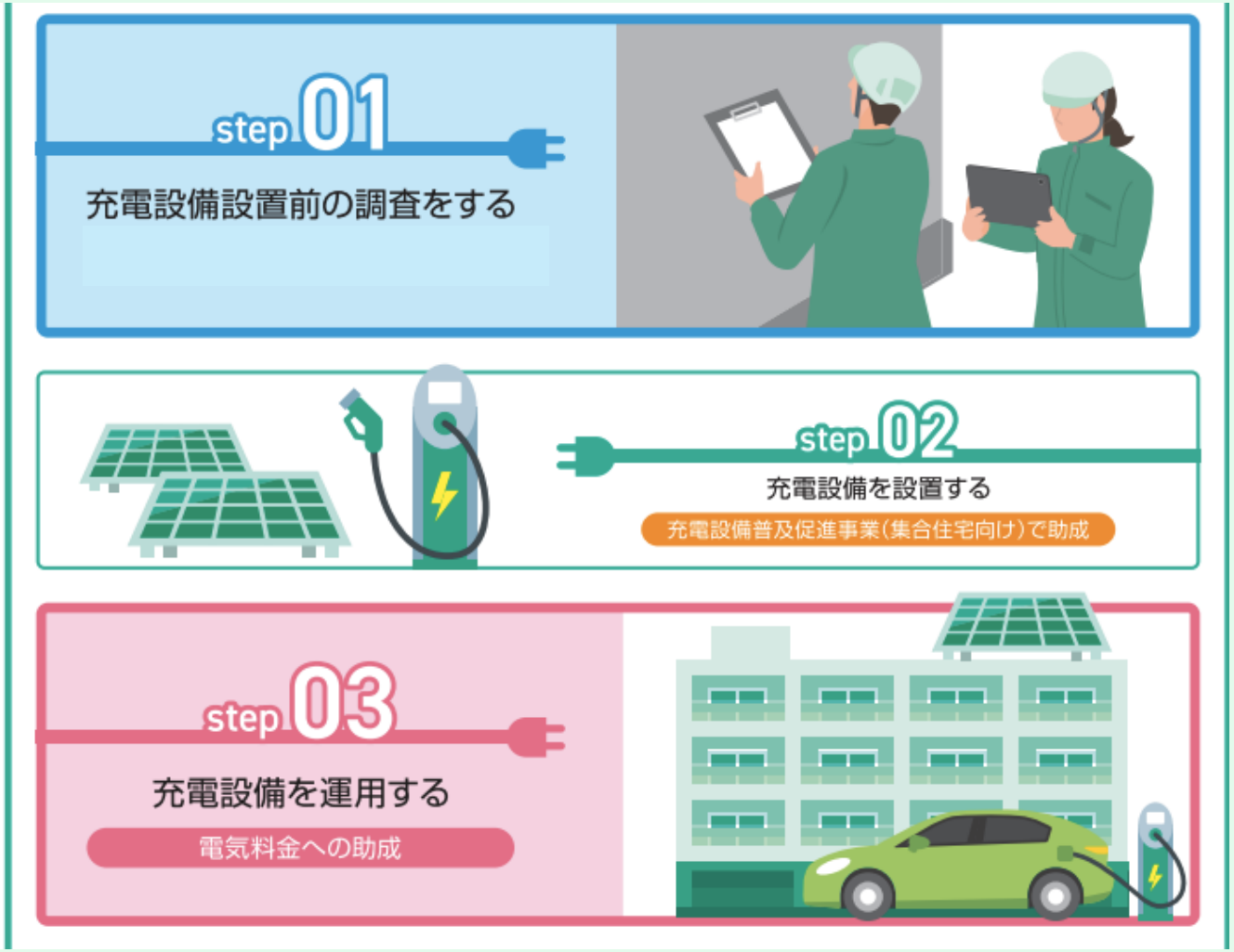
- ▶V2Xを用いて災害時にEVを**動力用電源**として使用し、**エレベーターや給水ポンプなどを稼働**させる取組も加速

- 新築分譲マンションへ、停電時にEVからの供給電力によりエレベーターを稼働させるシステムを全国で初めて導入（2025年３月３日　関電不動産㈱、㈱日立製作所、㈱日立ビルシステム）
  https://www.hitachi.com/content/dam/hitachi/global/ja_jp/press/articles/2025/03/0303a/0303a.pdf
- 東京とどまるマンション非常用電源、太陽光発電設備及びV2X設備導入促進事業・東京とどまるマンション浸水対策設備導入促進事業（(公財)東京都防災・建築まちづくりセンター・東京都住宅政策本部）
  https://www.mansion-tokyo.metro.tokyo.lg.jp/bousai/02lcp-shien/02dounyuu-sokushin/

２：検討段階のポイント

　２では充電設備導入にあたって検討段階でのポイントをご紹介いたします。
　設置に向けて検討が必要な事項とポイントを網羅的にまとめています。
　充電設備のスムーズな導入にあたっては検討段階でいかに合意形成を図れるかがカギとなります。合意形成に向けたポイントをつかんでいただければと思います。

２：検討段階のポイント
EV充電設備設置の大きな流れ



２：検討段階のポイント
検討のフロー（モデルケース）

②検討段階

発意・きっかけ → 調査・基本計画立案・事業者声掛け → 合意形成 → 事業者選定 → 総会決議

１．発意・きっかけ
・居住者からの要望　　・理事会内での意見・要望
・管理会社・コンサルからの提案

２．調査・基本計画立案・充電サービス事業者声掛け
・これからお話する、５W1Hを事前に話し合って決めておく。
・決められないところはマンションアドバイザー派遣（無料）等の都の支援を活用して検討を深める。
・検討主体は、理事会や委員会で行うことが一般的。

３．合意形成
・ある程度、理事会や委員会で案ができたら、説明会や意見交換会、アンケートを実施して、総意を確認。

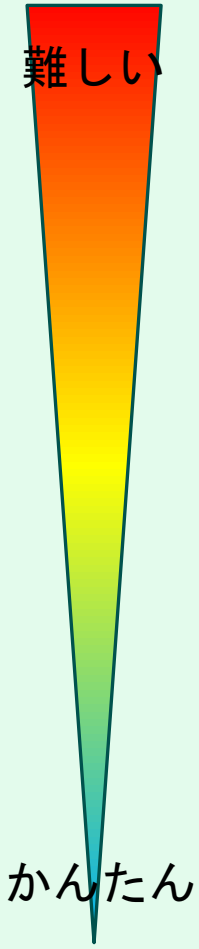
４．事業者選定
・設置や運用の希望が近い事業者に依頼
・複数の事業者から見積書の提出やヒアリングを受け、１社もしくは複数社に依頼

５．総会決議
・東京都、国の補助金を利用することやEV充電設備を導入することと、運用の方法（アプリ・事業者任せ等）を決議

２：検討段階のポイント

電気自動車充電設備をつけようかなと思ったら

基本計画をつくりましょう



決めるべきこと

How many	何基
WHERE	どこに
How to	どんな使い方で
How much	いくらくらいで（設置費・使用料）
WHO	誰の負担で（設置費・使用料）
WHEN	いつまでに・どれくらいの時間数
WHY	どんな理由で
WHY	どんなルールで
WHAT	どんなものを
WHO	誰が使えて

２：検討段階のポイント

基本計画を作るのに不安だなと思ったら・・・

アドバイザー派遣を活用しましょう

概要

マンション管理の専門家を派遣し、EV充電器の設置に関するアドバイスを行います。
情報収集から計画立案、合意形成の方法等、幅広く対応可能です。
無料で何度でもご利用いただけます。
東京都の事業ですので、強引な勧誘・営業はございません。

相談できる内容

・補助金の内容
・充電器の種類や設置工事の内容
・設置にかかる住民の合意形成手続き
・運用開始までの具体的なスケジュール
・料金の徴収方法
・消防法等の必要な手続き
・他の設置事例
・EV充電器設置に関する勉強会の開催（マンション管理会社向け）　など

概要、お申し込みはこちら

２：検討段階のポイント

有料になってもいいから、伴走してほしい！

どんな会社があるの？

マンション充電設備普及促進に向けた連携協議会（東京都環境局設置）の参加会社です。

■参加事業者・団体（50 音順）　※令和８年６月 16 日現在

充電サービス提供等事業者	
株式会社アサップ	株式会社 e-Mobility Power
因幡電機産業株式会社	株式会社インストリープ
株式会社エクシオテック	株式会社エスコ
NTT 東日本株式会社	Eneliver 株式会社
株式会社遠藤電気通信	河村電器産業株式会社
九州電力株式会社	京電システムコンストラクション株式会社
極東開発工業株式会社	COCOPLUG 株式会社
株式会社ジゴワッツ	株式会社スマートパワーサービス
合同会社 DMM.com	Terra Charge 株式会社
株式会社デンソー	東京ガス株式会社
東電タウンプランニング株式会社	株式会社ニッパツパーキングシステムズ
株式会社バディネット	パナソニックエレクトリックワークス株式会社
株式会社パルコミュニケーションズ	株式会社パワーエックス
pmi テック株式会社	株式会社ファム
株式会社フルタイムシステム	ユアスタンド株式会社
ユビ電株式会社	ラコーソリューションズ株式会社
Ring-ndx 株式会社	レジル株式会社

２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

How many　何基？

１．公平性・利便性から考える　→　全区画か？

２．とりあえず　ゼロ基　→　１基　設置を目指す

２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

How many　何基？

１．公平性・利便性から考える

POINT１：全区画で充電設備にアクセスできるような運用

▸すべての住民が充電設備にアクセスできるので納得感を得やすいのが大きな利点です。充電設備を共有で利用する（終わったら移動するタイプ）のに比べ、運用面で負担が減るケースが多いです。

また、充電設備利用者にとっても他を気にせず利用しやすいという利点があります。

パターン①　全区画（１区画に１基）設置

◯全区画に設置するので、公平性がある
◯個人のマナーに頼らないで済む
×費用がかかる
×同時充電の台数に制限がかかることがある

パターン②　２区画で１基の充電設備

◯全区画設置に比べて、費用を抑えられる
×物理的に交代で使用する必要があるため
　個人のマナーに頼る点が大きい

How many　何基？

１．公平性・利便性から考える

POINT２：デマンド制御を導入することで、電気料金の最適化が可能

▶全区画設置の場合、使用電力が多くなり、電力契約は最大需要電力（デマンド）による契約となります。デマンド制御を導入すると、デマンドを超えないように、一度に充電可能な充電設備の台数が自動で制御されます。そのため電気料金が最適化され、電気料金の抑制が可能です。

How many　何基？

２．まずゼロ→1基を目指してみる

POINT：共用利用を前提にスモールステップで１基設置してみる

▸マンションでのEV充電設備の需要を正確に見通すのは困難です。うまく補助金を活用しながら**まず１基**設置してみるのも一つです。

充電設備を設置することでマンションにお住まいの方の**EV保有者が増えていく**ことも考えられます。

マンション内のEV普及率を見ながら将来的に設置基数を増やすことも可能です。

マンションの駐車場にEV充電設備が1台でもあれば**住民の自動車購入の選択肢が広がります！**

※ただし、将来の増設に備え、幹線容量、分電盤、配管ルート等については、初期設置時に確認しておくことが重要です。

２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

WHERE　どこに？

１．契約者車室に設置して、専用利用

２．来客用駐車場に設置して、みんなで交代利用

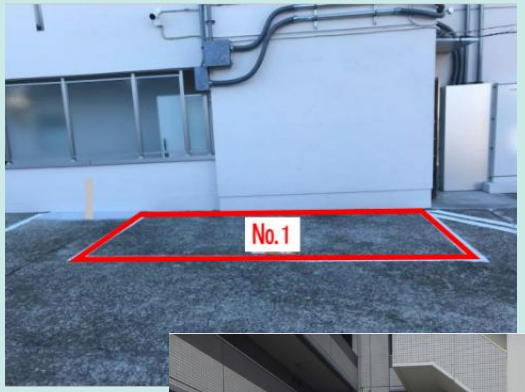
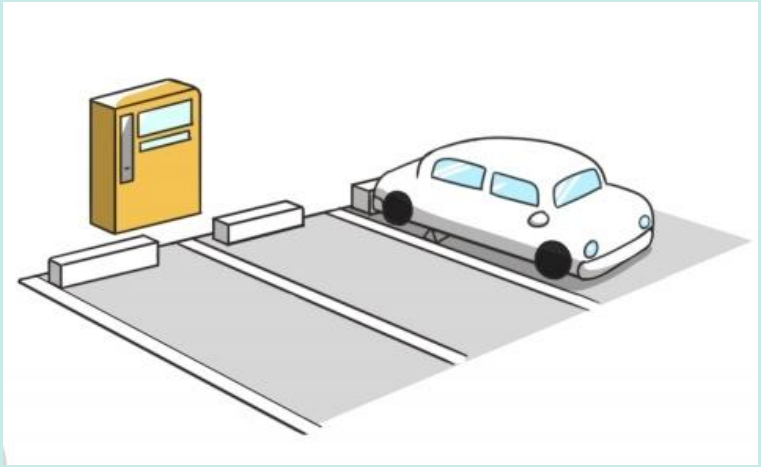
} How toにて

POINT

１．建物（電気設備）から近い・遠い（遠いほど工事費が高い）
２．防犯面・安全面（カメラ・照明・いたずらされにくい等）
３．雨がかり・非雨がかり
４．歩行者・利用者の安全確保

２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

WHERE　どこに？

建物内・建物に近い駐車場	建物から遠い駐車場	機械式駐車場
 		
電気設備からの配線がしやすい （工事費安い＝補助金内で工事可）	主要な電気設備からの距離が遠いため、配線がしにくい。 地面を掘って配線し、駐車場にスタンドを立てて設置する必要がある。 （工事費高い＝補助金で足りない可能性）	種類によっては、配線ができないタイプの駐車場がある そのパレット専用の充電設備となるため、必要な区画すべてに設置しなければならない

２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

WHERE　どこに？

▸POINT：充電設備は建物に近い場所に設置するのがおすすめ

電気設備からの配線がしやすく工費を抑えられる傾向にあります！

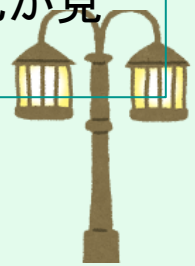
※建物から遠い場所への設置や機械式駐車場への設置については　５．よくある質問にて回答します。

▸その他設置場所についての注意点として

照明・防犯カメラ

①既存の照明や防犯カメラがあればそのそばに設置しましょう。

▸夜間に充電する際に手元が見えて安全です。



雨がかり　かどうか

②可能であれば雨ざらしの部分を避けましょう。

▸劣化や損耗を防ぐことができます。ただしコンセントタイプの場合、耐久性が高いので過剰に心配する必要はありません。

歩行者・利用者の安全面

③歩道や歩行者動線に充電ケーブルが這って、つまづくことがないようにしましょう

（宙に浮かせる架線の場合も、車高によっては干渉して危険ですので避けましょう）

How to どんな使い方で

１．契約者駐車場に設置して「居住者専用の充電設備」
（駐車場の並んだ２台の間につけて、２区画専用の充電設備もあり）

２．共用充電設備スペースとして
「終わったら移動してください」
「１件あたり、●時間が上限です」とする
※ルールが必要：使用細則を新設

２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

How much／WHO　いくらで誰が負担？

１．設置費用
　①　管理組合が全額出す
　②　充電設備事業者が全額出す（管理組合は無料）

２．使用料の設定者（電気代＋駐車場使用料）
　①　管理組合が料金設定できる
　②　充電設備事業者が料金を指定することができる

３．使用料の金額
　①　電気使用量に応じて課金
　②　時間に応じて課金
　③　定額にして使い放題

→　充電設備事業者によって異なるため、相見積りを取る必要あり

２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

How much／WHO　設置費用について

	メリット	デメリット
管理組合が全部出す 管理組合の共用施設 （有償設置）	・収益化等、自由に運用することができる ・管理組合の所有権のため、いつでも撤去可能（補助金活用の場合5年以内だと補助金返還のペナルティあり）	・有償のため、合意形成が無償に比べて工夫が必要 ・長期修繕計画の見直しが必要（設置・更新時）
充電設備事業者が全額出す（管理組合無料） 不動産使用貸借契約 （無償設置）	・無償で設置可能のため、合意形成が容易 ・所有権が（EV）充電事業者に帰属するため、管理組合としてはノーメンテナンス	・収益化等に活用することができない（現状） ・途中解約で違約金がある場合がある

２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

How to どんな使い方で・How much/WHO いくらで誰が負担？

共用充電設備スペースのさまざまな使い方

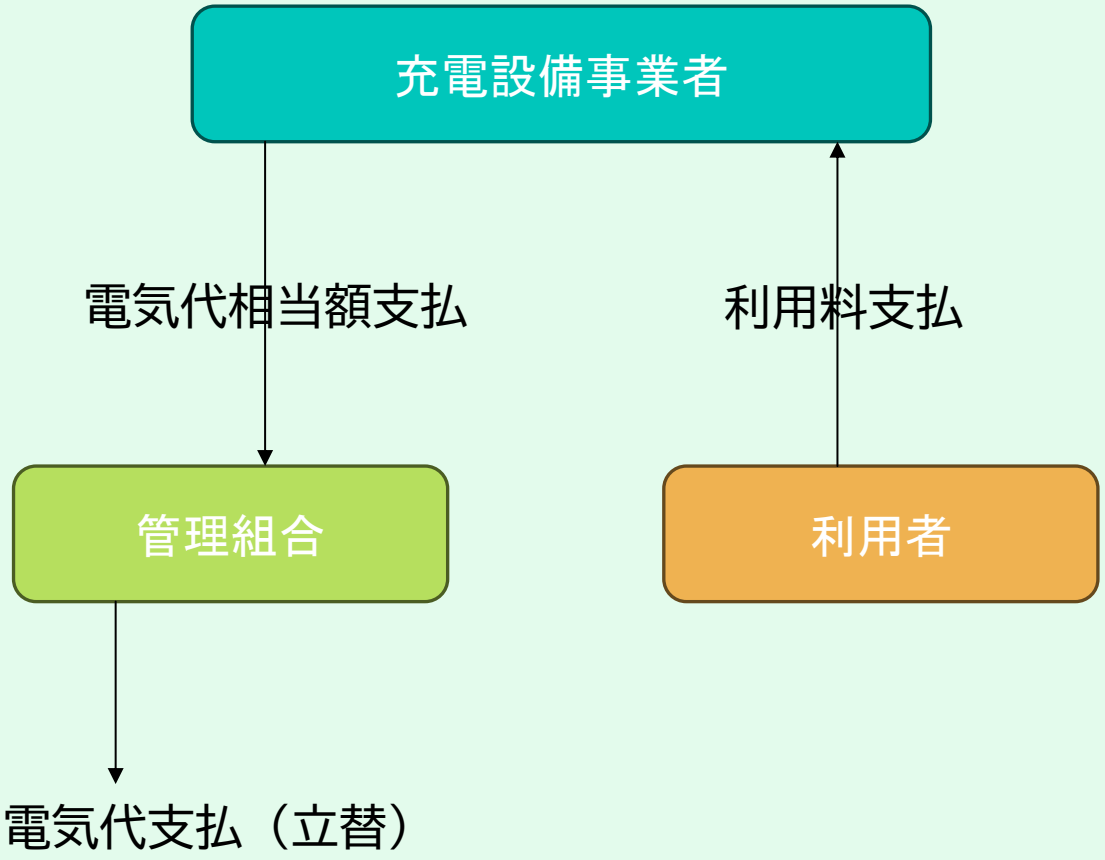
	最もアナログな対応	充電設備事業者に委託
予約方法	・管理室のノート等で記録する	・充電事業者アプリで予約（スマホ・PC）
課金対応	・管理室で現金で支払う ・口座引き落とし	・クレジットカード等のキャッシュレスで支払い（後で管理組合に電気代が振込まれる）
使用方法	・南京錠の鍵を借りて、充電設備のスイッチボックスを開ける ・スイッチをオンにしてケーブルを接続する	例：アプリを開き、現地の充電設備に接続（QRコード読込・スマホを近づける）、アプリに従って使用を開始する
料金設定	・管理組合が設定 ・時間単価・ｋＷｈ単価（メーターを設置）	・管理組合が設定 ・事業者が設定
特徴	・管理会社の負担が大きい ・トラブル発生時、管理会社・管理組合で独自に対応しなければならない	・管理会社の負担が軽い（一次対応程度） ・トラブル発生時も事業者に対応をおまかせできる

２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

How to どんな使い方で・How much/WHO いくらで誰が負担？

充電設備事業者のアプリ使用の場合

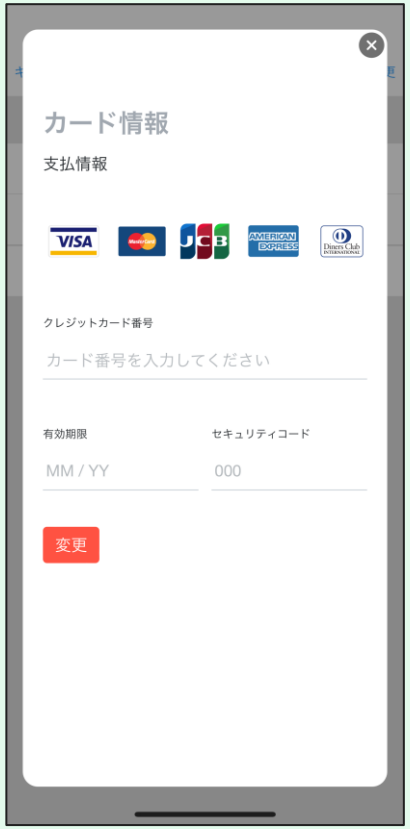
一般的なサービスの一例



アプリ登録



クレジットカード登録



料金プラン選択



２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

How to どんな使い方で・How much/WHO いくらで誰が負担？

充電設備事業者のアプリ使用の場合

一般的なサービスの一例

現地でケーブルを接続



QRコードを
アプリで読込



プラン・時間
・量を選択



充電開始　→
充電完了・課金



部外者が使えないよう、居住者にしか
わからないコードを発行することもできます

２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

How to どんな使い方で・How much/WHO いくらで誰が負担？

その他の方法　受益者負担の案【設置費】

受益者＝BEV・PHEVの保有者で充電設備を使用したい居住者

案１　登録料をとる
（管理組合の全額負担の設置費用で設置したあと）
登録料として５万円を支払えば、使用可能にする。

案２　使用料に上乗せ
（管理組合の全額負担の設置費用で設置したあと）
時間単価・ｋＷｈ単価に一定額を上乗せする。

例：設置費３０万円
耐用年数１５年→年２万円
使用時間：年４００時間／台
４台で使用すると仮定
約１２円／時間

合意形成が取りづらい場合には、こういった案もあります

２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

How to どんな使い方で・How much/WHO いくらで誰が負担？

その他の方法　受益者負担の案【電気代】

受益者＝BEV・PHEVの保有者で充電設備を使用したい居住者

① 電気使用量に応じて課金

→ １ｋＷｈあたりの金額を設定 → 計測は アプリ（課金も同時に）
メーター（課金はアナログに）

② 時間に応じて課金

→ １時間あたりの金額を設定 → 計測は アプリ（課金も同時に）
予約帳（課金はアナログに）

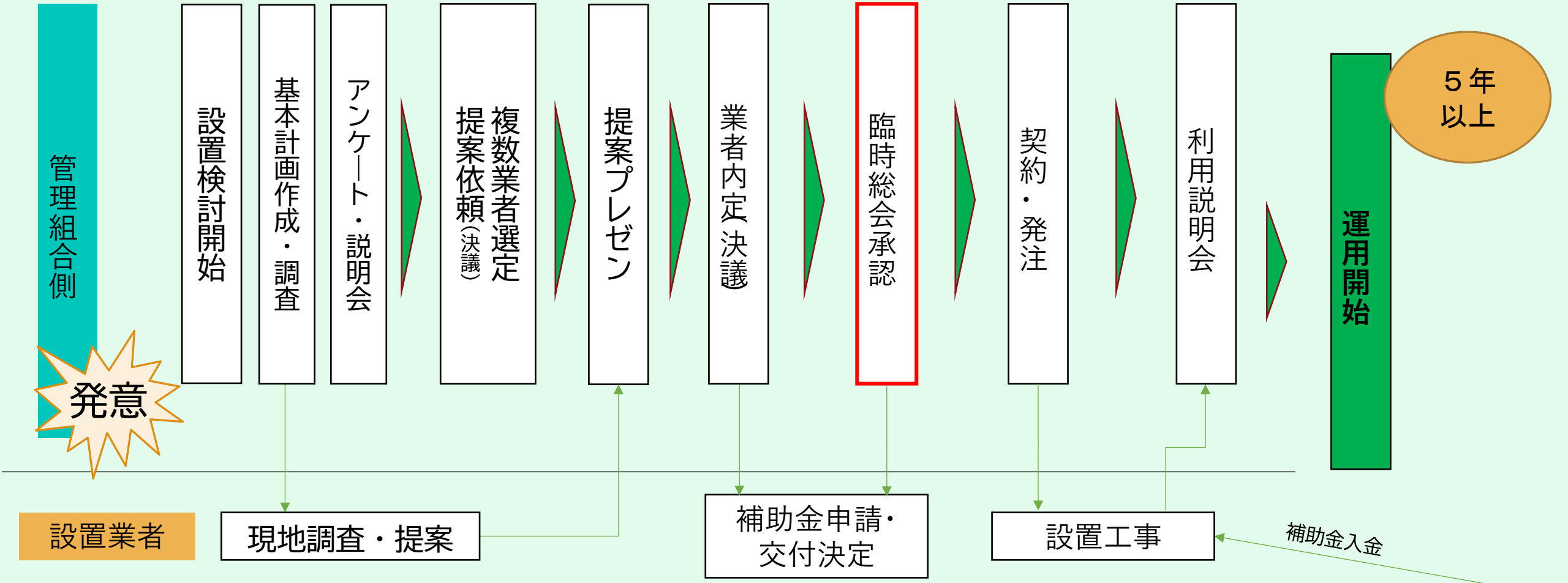
③ 定額にして使い放題

→ 計測は不要

２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

WHEN　いつまでに

合意形成手続きと補助金スケジュールが重要



２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

WHY　どんな理由で

【管理組合・組合員全員のメリット】
- BEVだけではなく、PHEVでも使用可能
- 駐車場の利用者への自動車購入の選択肢を拡大させられ、空き駐車場を減らせる（かもしれない）
- 防災面で活用が可能
  ①電気自動車の電気を単独で活用可能
  ②V2Hによって、マンションへ給電可能
- 補助金が活用でき、設置費用負担が減る
- マンション陳腐化防止・消極的なイメージの払拭（令和７年４月からの新築建物への設置義務化に対応）
- （BEV）敷地内で排気ガスを発生させない車両を増やすことができる

【電気自動車のメリット・マンションでの利用者のメリット】
- ガソリンに比べて、電気代の従量料金のほうが安いため、ｋｍあたりの費用が安い
- 停電時に電気自動車のバッテリーを活用してスマホ等の充電ができる
- 加速が良く、走行が滑らか
- 居住者がわざわざ外部で充電しなくとも、基礎充電が敷地内で可能となる
  （ガソリンスタンドにいかなくても良い）

総会資料や、説明会・意見交換会資料に掲載して、合意形成を図りましょう

２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

WHY　どんなルールで

例：専用充電設備の場合で、駐車場使用料に充電設備使用料を定額上乗せして支払う場合

駐車場使用細則に以下の文言を追加しましょう

１．定義に「充電設備付き駐車場使用者」を追加
２．駐車場使用料に「一般駐車場」と「充電設備付駐車場」の２種類の金額を設定
３．注意事項・遵守事項に、充電設備の使用について以下の項目を追加
　①（鍵を貸与する場合）充電器ボックスの鍵は、使用時以外は必ず施錠すること
　②契約自動車以外の充電以外の目的で充電器を使用しないこと
　③充電器及び施設に損傷、汚損を与えたときは、速やかに管理組合に連絡し、その指示に従うこと
　④充電器を使用する場合は、取扱い説明書の内容に従うこと
　　（取扱説明書は、充電設備付駐車場を契約する際に、管理会社より提供する）
　⑤その他、管理組合または理事会の定める事項及び指示に従うこと。

充電設備の設置や使用細則の制定は、工事内容や各マンションの管理規約により、普通決議または特別決議となる場合があります。事前に管理会社やマンション管理士等へ確認してください。

２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

WHAT　どんなものを

１．　３ｋＷ充電設備（普通）

２．　６ｋＷ充電設備（倍速）

３．急速充電設備（１０ｋＷ以上）

	普通充電器		急速充電器
	壁付けコンセントタイプ 100V/200V	スタンドタイプ 200V	
充電時間※	10～20時間		15分～1時間
充電設備本体価格例 （工事費は含まない）	数千円	数万円	百万円以上
ランニングコスト	低 → 高		

※充電時間は車両のバッテリー容量や残量などの条件により変動します

２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

WHAT　どんなものを

普通充電設備			急速充電設備
コンセント型	スタンドコンセント	ケーブル付充電設備	
			

ケーブルは車載ケーブルを使用

図：電気自動車（EV・PHEV）充電設備「ELSEEV：エルシーヴ」｜Panasonicより引用

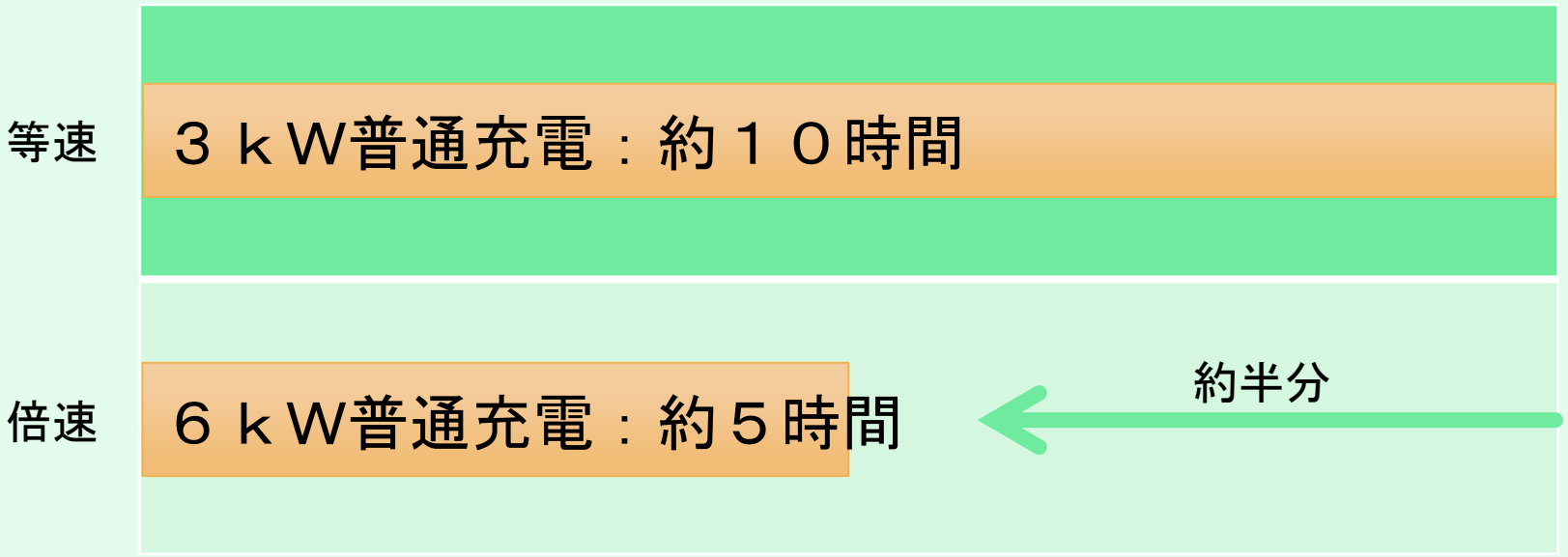
２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

WHAT　どんなものを

３ｋW充電設備（普通）と６ｋW充電設備（倍速）の違い

（例）日産リーフ【５５ｋWh駆動用バッテリー搭載車】の場合

30%から80%充電までの時間（倍速充電との比較）



※充電時間は、充電損失や車両の制御等を考慮した目安です。実際の充電時間は車種や充電状態により異なります。

注意

・６ｋW充電は、車両側が６ｋW充電に対応している必要があります。６ｋW未満の場合、その車両の最大充電容量が上限となります。

・【倍速充電】６ｋW充電時には、常に３０Ａの電流が長時間流れるため、ブレーカの定格は４０Ａが必要です。電力契約の見直しが必要になる可能性があります。

・【急速充電】１０ｋW以上の高い出力で充電が可能です。
５０ｋWで充電した場合、約３０分程度で充電が可能です。

２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

WHAT　どんなものを

普通充電設備と急速充電設備の違い

	急速充電設備	普通充電設備
充電時間	短い	長い
入力	三相　200VAC（交流）	単相100/200V　AC（交流）
出力	DC（直流）	単相100/200V　AC（交流）
電力変換	充電設備側	車両側
通信	あり	ない場合がある
メンテナンスコスト	毎月かかる （変電設備扱いとなります）	かからない （清掃費・目視点検程度）
その他	・超急速を導入しても、車両に応じて充電スピードが異なる ・車載電池に大きな負担がかかる場合がある	・車載電池には負担がかからない

２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

WHO　誰が使えて

１．その区画の駐車場契約者専用

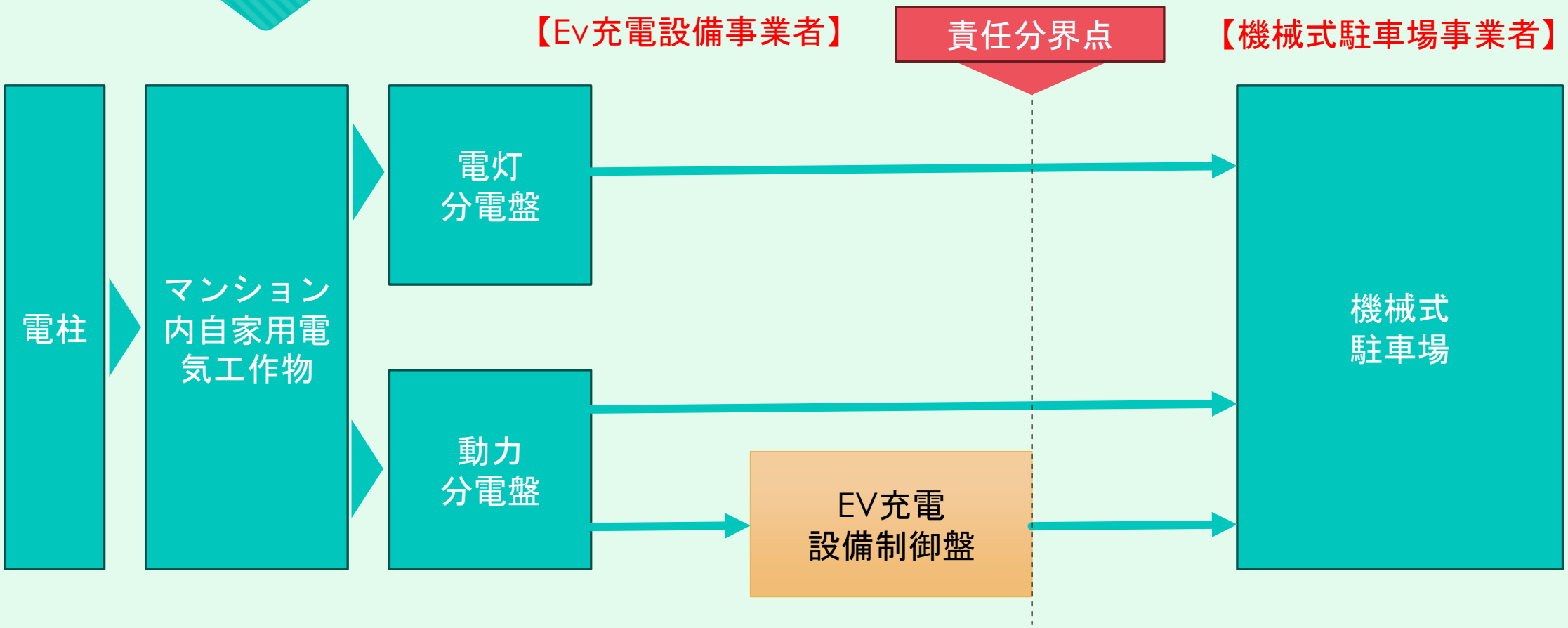
２．駐車場契約者であれば誰でも

場所と連動するので、細則等で決めておきましょう（総会の普通決議にて）

２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

機械式駐車場の場合の基本計画立案

（マンション内余剰電力を活用）



場所と連動するので、細則等で決めておきましょう（総会の普通決議にて）

２：検討段階のポイント　基本計画を作ろう

基本計画ができたら

充電設備事業者への声のかけ方

１．理事会決議を経ておく（導入調査を実施＋補助金を活用）
２．問い合わせ時に「導入調査をお願いしたい」と依頼する
３．基本計画で決めたことを羅列したものを渡す

【訪問日時を決めて・・・】
４．（調査時）電気設備図面を用意しておく
５．（調査時）平面図（新築時パンフレット）を用意しておく
６．（調査時）引込み開閉器盤室、分電盤室を案内する

【調査後・・・】
７．調査報告書／提案書／見積書が完成・提出

→　これを使って相見積りを取得します

２：検討段階のポイント

充電設備事業者の選び方

どんな会社に声をかけたらいいの？

マンション専門の充電設備事業者です

機械式駐車場が得意です

うちのアプリは使いやすいです！

全区画につけましょう！
同時稼働制御が得意です！

うちの充電設備は
日本一小型です！

マンション防災にも
力を入れています！

無料です！

設置工事が得意です！
難工事でもできます！

急速もできます！

２：検討段階のポイント

一度に複数の事業者を比較できます！

マッチング会

・充電事業者各社のサービス紹介と**個別相談が可能**です。

・複数の事業者に相談し、**比較**することも可能です。

・実際に充電設備を導入いただいた管理組合の方の体験談もご紹介します。

・今年度の開催は未定です。

参考：昨年度第2回内容

第1部（13時から14時）
- 都の支援策紹介
- マンション管理組合の方のご講演
- 充電事業者各社の紹介

第２部（14時から16時）
- EV車両を用いたデモンストレーション
- 充電事業者との個別ブース相談





２：検討段階のポイント

業者に声をかけて複数提案が出てきたら
合意形成に集中しましょう

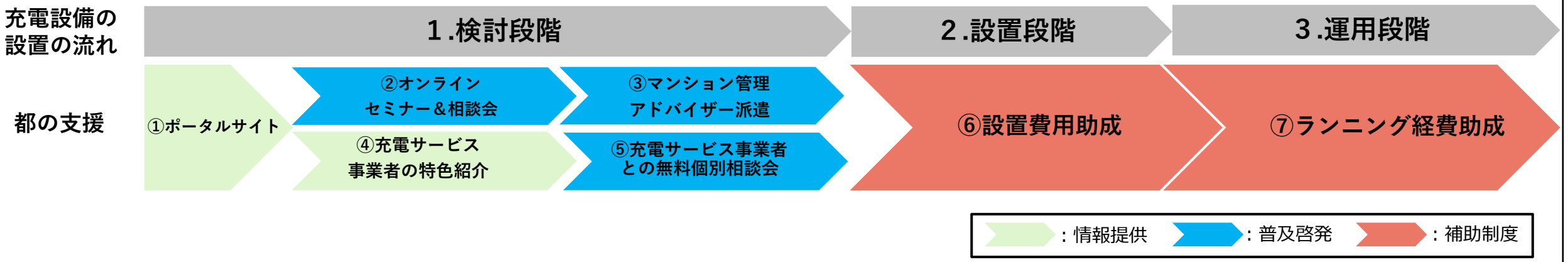
１．アンケートを取る

２．説明会・意見交換会でアピール
①資産価値向上・利便性向上
②東京都では充電設備設置が加速
（令和７年度より一定の新築建物で義務化／2030年に純ガソリン車の新車販売停止）
③EVだけじゃない、PHEVにも恩恵があることをアピール
④防災面でも活用可能
⑤補助金が充実しているうちにつけよう！

３．総会で決議

充電設備の設置の流れと東京都の支援策

令和８年７月
東京都環境局



１.検討段階

①ポータルサイト【東京都マンションＥＶ充電器情報ポータル】

マンションへの充電設備の設置に関する総合情報提供サイトです。
セミナーや相談会等、都の支援策に関する情報を提供します。

②オンラインセミナー＆相談会

充電設備設置の検討から意思決定、実際に設置するまでを分かり易く解説するセミナーと専門家に直接質問できる相談会を行います。
（参加費無料）

③マンション管理アドバイザー派遣

マンション管理に精通する専門家が現地を訪問し、充電設備の設置に係るアドバイスを行います。（無料/随時受付中）

④充電サービス事業者との無料個別相談会

充電サービス事業者と個別に相談することが可能です。
(今年度開催未定)

⑤充電サービス事業者の特色紹介

東京都では、マンション向けの充電サービスの普及を後押ししています。ポータルサイトで充電サービス事業者を紹介しています。

２.設置段階

⑥設置費用補助

充電設備購入費用と設置工事費用を補助します。
国と都の補助金を併用することで、ほとんど費用負担なく設置できる場合もあります。

３.運用段階

⑦ランニング経費補助

新規引込の充電設備設置後の電気料金（基本料金）を補助します。
（最大18万円/年（低圧）、最大334万円/年（高圧） 3年間）

※⑥⑦の補助事業の対象・要件等の詳細については、各補助事業の実施要綱、交付要綱、申請の手引きをご確認ください。

３：設置段階のポイント

　設置段階では、設備購入費用と設置工事費用等を補助することで、設置の支援をしております。

　国と都の補助金を併用することで、設置に係る自己負担を大幅に抑えられる場合があります。

３：設置段階のポイント

設置費用補助

充電設備の**機器購入費**と**工事費**の両方を補助（国と併給可）

【機器購入費】

- **超急速充電設備**（出力90kW以上）、**急速充電設備**（出力10kW以上）：**全額補助**
- **普通充電設備、V2H、充電用コンセント等：半額補助**

※機種ごとに上限あり。蓄電池付き充電設備の超急速充電設備・急速充電設備の場合は**335万円**上乗せ

３：設置段階のポイント

設置費用補助

【工事費】対象経費の10/10補助（機種等に応じて上限あり。）

- 超急速充電設備 ：1,600万円/基、急速充電設備：6万円/kWか309万円/基のいずれか低い方
- 普通充電設備、V2H、充電用コンセントスタンド

  ：**135万円/基**（1基目）、**68万円/基**（2基目以降）
- 充電用コンセント：**95万円/基**（1基目）、**48万円/基**（2基目以降）

機械式駐車場に充電設備（超急速・急速除く）を設置する場合

：**171万円/基**（1基目）、**86万円/基**（2基目以降）

※金額はいずれも上限額

３：設置段階のポイント

設置費用補助

【工事費】対象経費の10/10補助（機種等に応じて上限あり）

- **通信機能付き充電設備**の場合（工事費上限額に上乗せ）

  超急速・急速：+10万円/基、**普通・V2H等：+3万円/基**

- 将来の設備設置を見据えた**先行工事**（配管等）

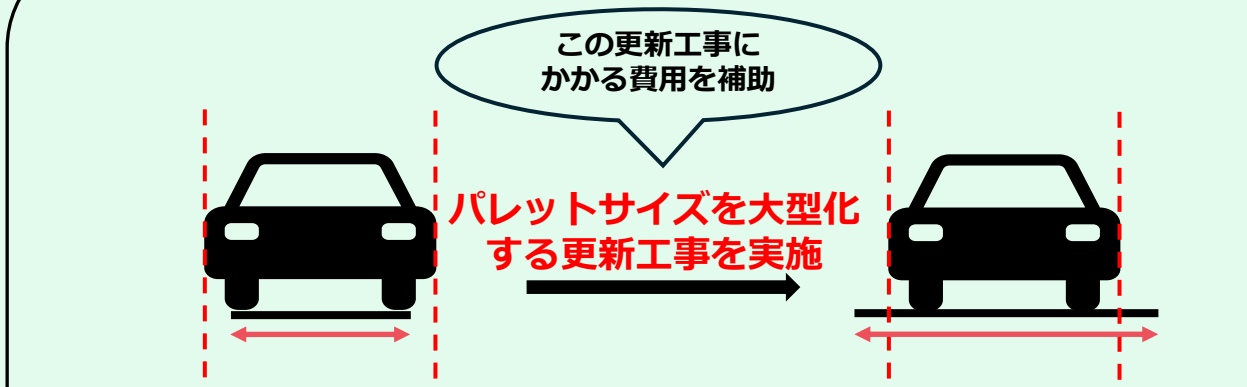
  機械式駐車場以外：**7万円/区画**、機械式駐車場：**30万円/区画**

- 遠隔制御用**エネルギーマネジメント設備**：30万円

- 充電設備設置に併せた**機械式駐車場の改修工事**：**140万円/パレット**

※金額はいずれも上限額

▶充電設備設置に併せた**機械式駐車場の改修工事：140万円/パレット**

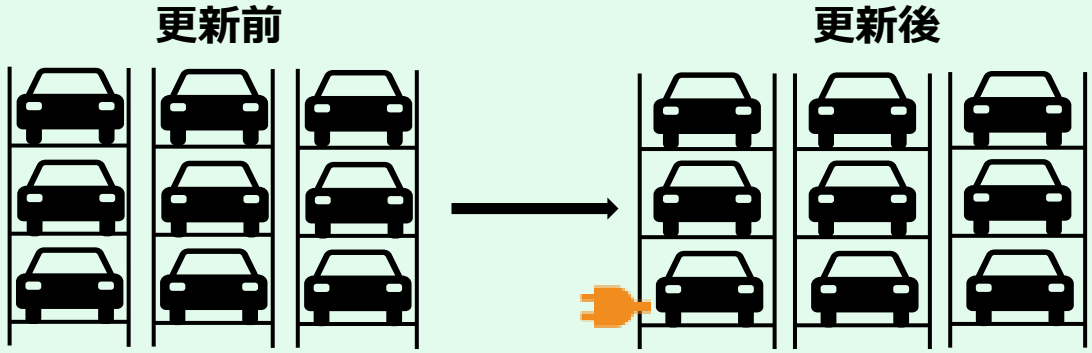


既存の機械式駐車場では、
EVのような大型の車両は駐車できない。

パレットサイズが大きくなり、
EVのような大型の車両も
駐車可能に。

パレット…機械式駐車場の、車を載せる台

（例）９区画の機械式駐車場を更新した場合



駐車場区画数が９区画の場合、１口以上の充電器設置が必要

機械式駐車場の更新にかかった経費＋充電器の設置にかかった経費

（上限140万円/パレット）　　（上限171万円/基）

９区画全てを更新し充電器を1基（口）設置した場合、
140×９＋171×１＝1431（万円）が補助上限額※となります。

※あくまでも上限額となります。この金額が交付されることをお約束するものではありません。

３：設置段階のポイント

集合住宅への太陽光発電システム及び蓄電池への助成

- **V2Hと同時に申請**する場合、**太陽光発電システム及び蓄電池**の購入費・工事費を**10/10助成**
- 上限額は**太陽光：30万円/kW**（既存住宅の陸屋根設置に対して防水工事費の上乗せあり）、**蓄電池：20万円/kWh**で、全体で**上限額1,500万円**

既存戸建住宅向けの助成【参考】

	助成対象設備		設備購入費	設置工事費	主な要件
既存戸建住宅	普通充電設備 充電用コンセント 充電用コンセントスタンド	通信機能なし	25,000円/基（定額）		太陽光発電の設置または再エネ100%の電力契約
		通信機能付き	**上限30万円/基**	**―**	太陽光発電の設置または再エネ100%の電力契約

３：設置段階のポイント

補助金申請の流れ（概略）

利用のステップ（国補助なし）

①交付申請

↓

②交付決定通知の受領

↓

③充電設備設置工事

↓

④実績報告提出

↓

⑤助成金額確定通知書受領

↓

⑥助成金受け取り

利用のステップ（国補助あり）

①国補助への申請

↓

②交付決定通知書（国）の受領

↓

③充電設備設置工事

↓

④実績報告の提出（国）
補助金額確定通知書の受領（国）

↓

⑤都補助への交付申請

↓

⑥交付決定･額確定通知（都）の受領

↓

⑦助成金受け取り

※補助要件･申請方法等の詳細はこちらから

クール・ネット東京※HP

※補助金申請の受付から交付までを行う東京都の政策連携団体です。

３：設置段階のポイント

助成金を利用した充電設備設置事例

クレッセント上野毛【2025年５月設置】

概要		
総戸数	３８戸（分譲マンション）	
駐車場区画数	２５区画（機械式：16区画、平置き：９区画）	
設置状況		
充電器の種類	コンセント 3.2ｋW	
設置数	９基（平置き区画に設置）	
費用及び助成金の活用		
設置費用	**約４０６万円**	**助成割合(助成金額/設置費用)** **約８６％**
助成金額	**約３５０万円**	





グレーシアパーク八王子みなみ野【2025年６月設置】

概要		
総戸数	２２５戸（分譲マンション）	
駐車場区画数	２７４区画（平置き）	
設置状況		
充電器の種類	コンセント ４ｋW	
設置数	２７４基（全駐車場区画に設置）	
費用及び助成金の活用		
設置費用	**約１億２３６０万円**	**助成割合(助成金額/設置費用)** **約９１％**
助成金額	**約１億１３００万円**	





※金額はいずれも税抜き

４：運用段階のポイント

充電設備を設置した後の運用段階においても東京都の支援があります。

充電設備設置に伴う電気料金を最大3年間補助するランニング経費補助についてのご案内です。

４：運用段階のポイント

ランニング経費補助

- **一需要場所複数引込**※で充電設備設置をする際に、**電気料金（基本料金）**を助成

※詳細は経済産業省資源エネルギー庁のHP等をご覧ください。

- 充電設備を駐車場区画数に応じて**一定数以上**設置すること

（例：10～45区画の場合は区画数の20%以上）

- **18万円/年（低圧）、334万円/年（高圧）**を上限額に最大**3年間**助成

事業の詳細等は
こちらのQRコードからご覧ください

【まとめ】支援策を利用した設置までの流れ

設置検討 → 事業者選定・事前調査 → 総会で審議 → 契約～工事 → 運用開始

①情報収集 → ②相談・計画策定 → ③事業者決定 → ④総会 → ⑤設置工事 → ⑥運用

①情報収集
・ポータルサイト等で補助事業の概要や他の設置事例を確認
・アドバイザーやオンラインセミナー活用で疑問点を解消

②相談・計画策定
・現地を見ながらより個別具体的な疑問点をアドバイザーに相談
・無料個別相談会で充電サービス事業者に相談
（サービス一覧表から充電サービス事業者に連絡）

③事業者決定
・②で作成したプランを基に、理事会で議論
・どの事業者にするかを決定⇒図面作成や補助金申請 等

④総会
・アドバイザーに合意形成の方法を相談
・充電設備の利用方法等の検討

⑤設置工事
・東京都、国の補助金を利用

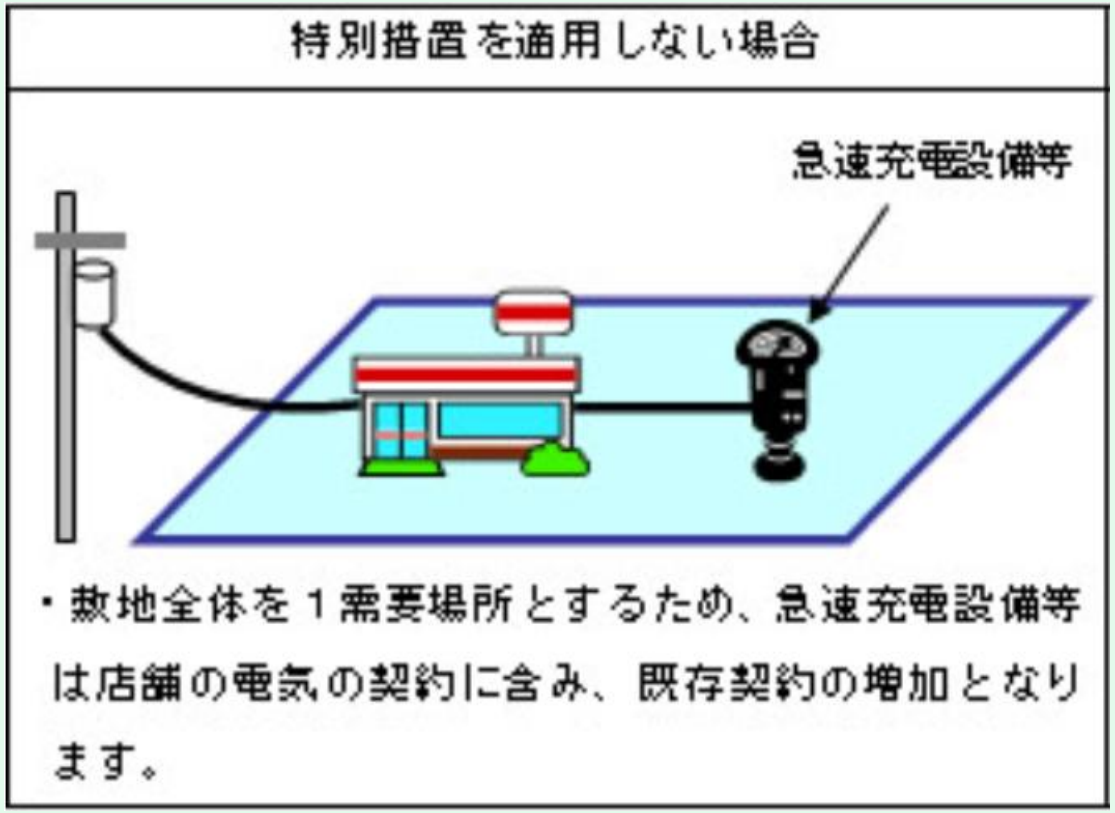
⑥運用
・特別措置等を利用すれば電気基本料金の補助も受けられます。

５：よくある質問・事前質問回答

５ではアドバイザー派遣事業でよくいただく質問や、充電設備設置にあたり多くの組合の皆様が疑問を持たれる事項、皆様から事前にいただいた質問について解説いたします。

Ｑ１　駐車場が、建物から遠いところにあり工事費が高くなってしまいました。設置は諦めたほうがいいでしょうか？

原則のルール：１需要場所、１引込



道路上から電気を引き込むには、
原則、
１需要場所、１引込
というルールがありますが、

充電設備の設置の場合、
「別引き込み」という方法もあります。

建物（電気設備）から遠い駐車場への設置の場合



出典：ユアスタンド株式会社HP

工事費の比較（一例）

◎遠く離れた共用部の分電盤からの引き込みの場合：220万円

◎近くに立つ電柱からの引き込みの場合：86万円

Q. ２設置は、一部の区画にするべきか、全区画にするべきか？

回答

（１）技術面（容量面）で可能かを検討してください

① 電気設備の改修をせずに、全区画が可能か

② 電気設備の改修をしなければ全区画に設置可能にならないのか、あるいは外部引込をしないと全区画設置が叶わないのか

③ 費用を抑えるために、デマンドコントロールを活用しなければならないのか

（２）運用面を検討してください。

① 運用面－１：充電設備がある区画を電気自動車専用区画とするのか、別の充電を要しない車両でも駐車可とするのか、その場合には移動を前提とするのか等の使用方法の検討

② 運用面－２：その区画の契約者専用とするのか、充電したら移動してください、という区画とするのか（滞留したらどうするのだ、という意見も）

③ 運用面－３：デマンドコントロールを入れる場合、同時充電台数が制限されてもいいかの検討

（３）公平性　…　早い者勝ちにならないか

（４）合理性　…　国や都の方針を参考にする（2030年の都内自動車ストックのうち14%程度がEV・PHV）

Q3.　３ｋWと６ｋWとあるが、どちらがいいのか、メリットデメリットを教えてほしい。

回答

■３ｋWは普通充電、６ｋWは倍速充電　です。

メリット

・倍速充電は、その名のとおり、充電が速い（充電時間が短い）

デメリット

・倍速充電の場合、３０Ａが必要になるため、電気容量の増設が必要になることがあります。

・倍速充電の場合、車両が対応していない可能性があります

Q4．できるだけお金をかけたくない（自己負担をしたくない）が、何かいい方法はないものか？

回答

（１）無料設置プランを提供している会社があります。
協議会にも複数社参加していますので、お問い合わせください。

（２）無料設置プランの場合、以下のような条件があります。
・１０年間の敷地の使用貸借契約（途中解約は違約金）
・使用料を管理組合側で決められない
・設置台数も設置業者側が決めていく

Q5. 合意形成にあたり、駐車場を使っていない人から反対意見が出るおそれがあるが、どのように説得をしたらよいのか？

回答

（１）充電設備が令和７年より、一定規模の新築物件で設置義務化されますので、充電設備がないことで資産価値に影響がある　と受け止められるようになるのは、そう先ではないでしょう

（２）電気自動車は、大きな蓄電池です。当然、管理組合のものではありませんが、災害時・停電時に電気自動車から電気を取り出し、居住者の皆様の携帯電話・スマホ・ノートＰＣ等の充電に協力してもらうことも考えられます。使わない人にも恩恵があります。最近では、コンセントに挿すだけでWIFIが繋げられるものもあり、通信＝情報収集にも貢献することができます。

Q6. ランニングコストがかかるのか？

回答

（１）普通充電器の場合ほぼかからないと思っていただいても差し支えありません。

（２）とはいえ、管理組合の財産とする場合（無料プランを選択しなかった場合）には、長期修繕計画に、コンセントやスタンド、分電盤等の更新費用が必要となりますので、計上されることをお勧めします。

Q7. 協議会から選定しては、と言われるが、２０社近くもあり、選定がおっくうだ。数社紹介してほしいのだが。

回答
（１）東京都側・アドバイザー側から、特定の１社をご紹介することはできません。

（２）現在、協議会参加会社の特徴をまとめたものを公表しています。各社の特徴のポイントは以下です。
①無料プランがあるか
②急速充電器を導入できるか
③設置台数に関する考え方（全台設置、部分設置）
④課金・予約アプリの有無、ＵＩの違い、予約・使用方法の違い
⑤デマンドコントロールの有無
⑥推奨設備（コンセントやスタンド）の違い
⑦別途引込設置／機械式駐車場設置の実績の有無
⑧保証内容、メンテナンス、緊急時対応、違約金　等のソフト面

ご清聴ありがとうございました。

【お問い合わせ先】

○制度全体

EV充電設備に関する支援策

東京都環境局　気候変動対策部家庭エネルギー対策課　☎０３－５３８８－３７０９

○補助金申請等

EV充電設備に関する補助事業

クール・ネット東京　都市エネ促進チーム　☎０３－５９９０－５１５９

マンション管理アドバイザー派遣

大成技建株式会社　☎０４２－５０５－６６３２